

渋谷区立図書館だより



VOL.162
2012.4.1

- ★ 春の「図書館フェア」のご案内
- ★ 寄贈本紹介 『渡邊二郎著作集（全12巻）』
- ★ 平成23年度講演会風景等 ★ 文部科学大臣表彰状
- ★ 私のおすすめの1冊！
- ★ 笹塚図書館では・・・
- ★ 4月・5月の行事予定表
- ★ 図書 予約集中ベスト10



春の「図書館フェア」のご案内

渋谷区制施行80周年記念



4月23日は、「子ども読書の日」です。

渋谷区立図書館の各館では、春の『図書館フェア』として、「子ども読書の日」の前後に各種行事を予定しています。

今年のメインテーマは、「読み継がれている本」です。テーマ別の展示コーナーやスペシャルおはなし会などは下表のとおりですので、児童・生徒のみならず、是非ご来館ください。

図書館名	行事名	内容説明	定員	日程・期間等
中央	スペシャルおはなし会	紙芝居・絵本などの読み聞かせをします。	40人	4月22日(日) 14:30~15:30
	特別展示 地図で見る「しぶやおすすめの本50」(2階)	「しぶやおすすめの本50」に入っている本が世界のどこの国のお話しかを、地図を使って分かりやすく展示。	—	3月16日(金)~5月31日(木)
	クイズラリーに挑戦	「読み継がれている本」に関する10問のクイズに挑戦。	—	4月22日(日)~5月12日(土)
	児童コーナー 特別展示(1階)	「本を読んで読書の木を育てよう！」	—	4月22日(日)~5月12日(土)
こもれび大和田	ぬいぐるみお泊り会	ぬいぐるみを持ってきてもらいます。ぬいぐるみが図書館に1泊します。 【定員10人、対象0歳~12歳 申込み4/15から先着順】	10人	4月22日(日)
	特別展示	岩波少年文庫の60年 -宮崎駿「本へのとびら」から-	—	4月13日(金)~5月9日(水)
西原	2周年&スペシャルおはなし会	紙芝居・絵本などの読み聞かせをします。	30人	4月18日(水) 15:00~15:30
	特別展示	「読み継がれている絵本」を児童室に展示。「作家が読んできた本」コーナーを設置し、展示。	—	4月23日(月)~5月12日(土)
渋谷	スペシャルおはなし会	大型絵本・大型紙芝居・大型折紙など。	10人	4月18日(水) 15:00~15:30
	特別展示	「読み継がれている本」をこども室に展示。	—	4月13日(金)~4月30日(月)
富ヶ谷	スペシャルおはなし会	パネルシアター、絵本の読み聞かせなど。「読み継がれている本」の中から	30人	4月21日(土) 11:00~11:30
	特別展示	「おとうさん、おかあさんがすきだったおはなし」を児童コーナーに展示。	—	4月1日(日)~4月30日(月)
笹塚	スペシャルおはなし会	大型絵本「からすのパンやさん」・絵本・紙芝居など。	40人	4月18日(水) 15:00~15:30
	特別展示	「かこ さとの本」を児童室に展示。	—	4月16日(月)~4月30日(月)
本町	スペシャルおはなし会	大型絵本・映画などをします。	40人	4月25日(水) 15:00~16:00
	特別展示	「読み継がれている本」のテーマに沿って展示。副題は、「おじいちゃんもおばあちゃんも、おとうさんもおかあさんも・・・」。	—	4月1日(日)~4月30日(月)
臨川みんなの	スペシャルおはなし会	絵本・紙芝居など。「親子で楽しむ読み聞かせ」をします。	30人	4月18日(水) 15:00~15:30
	特別展示	「大好きだったあの本・絵本」を展示。	—	4月15日(日)~5月9日(水)
代々木	工作会	絵本や昔ばなしの主人公を作ってあそびます。	20人	4月21日(土) 15:00~15:30
	特別展示	「おとうさん、おかあさんも読んでいた！読み継がれている本」児童コーナーで展示。	—	4月13日(金)~5月9日(水)
笹塚こども	スペシャルおはなし会	むかしばなしとむかしあそびをします。	30人	4月21日(土) 15:00~16:00

※ 詳しくは、各図書館にお問い合わせください。(図書館の所在地・電話番号は4面参照)

※ その他のおはなし会や映画会等、4月・5月の行事予定は、本号4面にもあります。

*渋谷区立図書館ホームページ

<http://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/>
ホームページから資料の予約ができます。

●渋谷区ホームページ

<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

渡邊二郎著作集

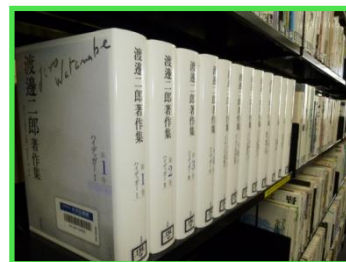
(全12巻)を受贈

渋谷区にゆかりの深い哲学者、渡邊二郎先生の遺稿集全 12 巻を、ご遺族の花野和子様から寄贈していただきましたので、ご紹介いたします。

渡邊二郎氏は、1931 年渋谷区の旧常磐松町でお生まれになり、常磐松小学校のご出身です。東京大学文学部哲学科を卒業後、ドイツのフライブルク大学で2年間の研究を経て、東京大学文学部教授・東京大学名誉教授・日本哲学会会長・放送大学教養学部教授・放送大学名誉教授などを歴任され、2008年にご逝去されました。

寄贈された全 12 巻中に「ハイデッガー」や「フッサール」などを含め、ドイツ哲学研究の真髓が網羅されています。

哲学に興味のある方は、ぜひ読んでみてください。【中央図書館所蔵】



講演会風景

平成23年度～…出来事…

読書推進ボランティア



△ 児童文学者 松居 直 氏の講演会
演題は「声の文化と子どもの本」
(平成 23 年 10 月 22 日)



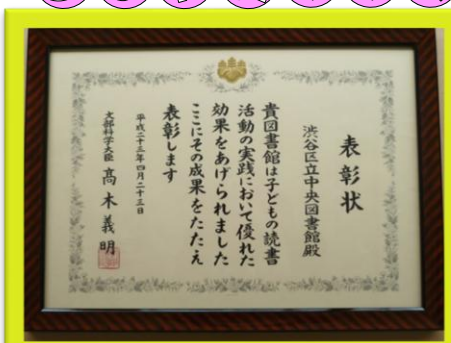
△ 作家 林 真理子 氏の講演会
演題は「小説を書く時間」
(平成 24 年 1 月 28 日)



△ 読書推進ボランティア活動(第1回)
富谷小学校放課後クラブにて
(平成 23 年 10 月 31 日)

しづやおすすめの本50

通路開通



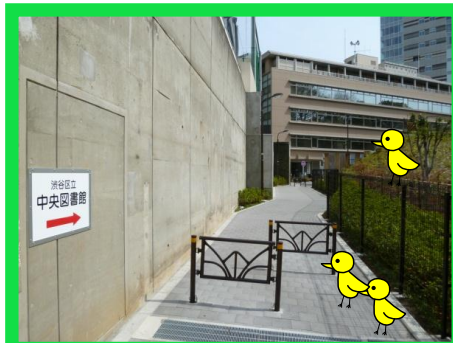
▲ 「しづやおすすめの本50」が、
文部科学大臣表彰を受賞しました。
(平成 23 年度 子ども読書活動優秀実践図書館)

渋谷区立中央図書館



▲ 本年 4 月に「春の図書館フェア」を実施しますが、【地図で見る「しづやおすすめの本 50」】
を 3 月 16 日から特別展示しています。
展示期間は、ひととき本号1面参照

渋谷区立中央図書館にて



▲ 東郷神社と原宿外苑中学校の間に、中央図書館に通じる歩行者用通路ができ、JR原宿駅からの所要時間が短縮されました。

(開通式は、平成 23 年 12 月 7 日)



私のおすすめの1冊！



今回は、笹塚図書館 児童担当のおすすめの1冊です。

『だれか、ふつうを おしえてくれ！』

くらもとともあき
倉本 智明
理論社

中学生くらい～

「ふつう」とは、一体誰にとってのふつうなのでしょう？視覚に障がいを持つ著者の倉本さんは、例えを用いながら「ふつう」という視点を説明していきます。分かっているような気持ちで、実は分かっていたことが、見えてきます。

笹塚図書館では・・・

笹塚図書館に入ると、この『ひととき』にも登場している“ハチ”がたくさん出迎えてくれます。まず児童室。本棚の上にハチの家が並んでいて、屋根には本の種類を示すマークや数字が入っています。例えば「日本の話」は〈91〉・「料理」の本は〈59〉で表示してあります。これが「けんさくくん(検索機)」で表示された数字と一致するしくみになっています。

1階児童室



本探しに大活躍のおうち

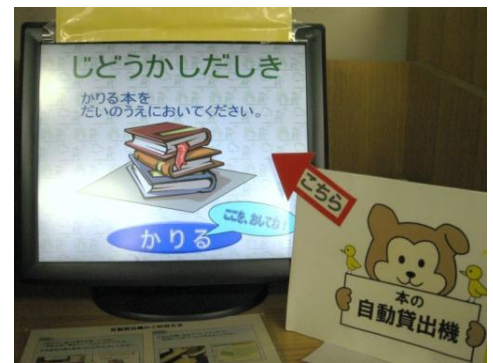


見出し

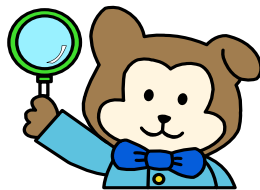


自動貸出機

そのほかにハチがいるのは、建物入り口や階段途中の掲示板です。そして案外皆さんの気づかないところでは、2階カウンター前にいるハチ。ここでは、“自動貸出機はこちら”と矢印で場所を教えて(貸出機&案内するハチ)くれています。



自動貸出機って・・・？



ご予約資料も視聴覚資料もなく、本のみをお借りになるときに、利用者カードをかざすだけで簡単にご利用いただけます。笹塚図書館では、2階「けんさくくん(検索機)」の並びにあります。お気軽にご利用ください。お子さんと本をお探しになるときのヒントやお楽しみに、ぜひ笹塚図書館の“ハチ”を見つけてみてください。

笹塚図書館 03-3460-6784

